

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	72	事業名	道路改良事業(土木課)	担当部課	建設部土木課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち			決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 岩作地区生活道路整備基本計画			7-2-2 道路新設改良費	
	事業開始の背景、経緯等	緊急車両の通行が困難な狭隘道路を解消するため、道路の拡幅工事を行う必要がある。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可			(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 狭隘道路を解消するため、道路の拡幅工事を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 狭隘道路整備促進路線1位である、市道東島2号線における整備拡幅工事延長
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 道路改良を行い、安全で円滑な交通を確保する。

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	事業費(A)	千円	予算	12,822	17,277	38,268	34,742	21,590
			決算	9,990	63,339	37,079	23,164	
	人件費(B)	千円	決算	4,168	4,798	6,666	4,490	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	14,158	68,137	43,745	27,654	
	事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	m		—	—	—	70	178
対象あたりコスト(C/D)	千円		—	—	—	395		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)
	市道東島2号線道路拡幅整備延長	m	目標	—	—	—	—	70
			実績	—	—	—	—	
	(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)						
拡幅された場所が誰でも把握できるように整備延長とした。 (前年までと変更した場合はその理由)	市道東島2号線道路拡幅工事(第1期)の整備延長							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 当初は工事区間を2分割としていたが、用地交渉や現地照査に時間を要し、3分割に変更をした。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 地元沿線住民を対象に事業の進捗に合わせて説明会を実施した。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 用地交渉に時間を要しているため、地域との協働をより強くすべきと感じ、岩作地区生活道路整備協議会の分科会リーダーを始め密に連絡を取り、事業を進めていく。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	市単独事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	—	30	30	—	—
				実績	—				
	(2)	【アクションプラン】 (岩作旧市街地狭隘道路) 整備延長【累計】	m	見込	—	70	178	308	—
				実績	—				
	(3)	【アクションプラン】 (中根狭隘道路) 拡幅延長【累計】	m	見込	—	—	—	100	—
				実績	—				
	(4)	【アクションプラン】 (下川原下山1号線) 整備延長【累計】	m	見込	—	—	—	—	7
				実績	—				
(5)	【アクションプラン】 (浮江隅田2号線) 整備延長【累計】	m	見込	—	—	—	160	—	
			実績	—					
(6)	【アクションプラン】 (雁又泥亀首1号線) 整備延長【累計】	m	見込	—	—	—	—	—	
			実績	—					
(7)	【アクションプラン】 (神門前大日1号線) 交差点改良数【単年】	箇所	見込	0	1	—	—	—	
			実績	0					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 岩作旧市街地地区狭隘道路整備における、R2年度工事分用地購入4件及び物件補償3件、東島2号線測量設計業務委託1件、R3年度工事分物件補償算定委託1件							今後の方向性	拡充	

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	市単独事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
				実績					
	(2)	【アクションプラン(総合計画) 指定の指標】		見込					
				実績					
(3)			見込						
			実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 狭隘道路整備においては、地域との協働をより強くすべきと感じ、岩作地区生活道路整備協議会の分科会リーダーを始め密に連絡を取り、事業を進めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和4年度で東島2号線の道路拡幅工事を完了し、次の整備路線が整次第取りかかる。

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
内部意見への回答		